



ALOHA



菅山小学校 5年学年便り

R3. 10. 15 (金)

第21号

☆脱穀をしました☆

10月11日。後期初日に脱穀をしました。先日の稲刈りで、先日、プールサイドのフェンスに稲をかけた後、保護者のみなさんがビニールをかけてくださったおかげで、雨に濡れる部分が最小限で済み、しっかりと乾燥させることができました。(ありがとうございました!)

現在では、刈り取った後すぐに脱穀をする機械(コンバイン)が主流のため、脱穀だけができる機械は貴重なものになってきたそうです。その貴重な機械を地域の菅沼さんが貸していただき、一人一人が使わせていただきました。慎重に機械に稲を入れ、その稲がどうなっていくのかを真剣に観察する子が多かったです。中には、「機械の外に出されたものは何ですか?」「残ったわらは何に使うんですか?」など、疑問に思ったことを進んで質問する子もいました。また、縛ってあった所から、落ちてしまった稲を拾う子もいました。お米の一粒一粒を大切にしている姿だと感心しました。

今回収穫できたもち米の玄米は…



でした!

子どもたちが脱穀した玄米を藤波さんがきれいに分別してくださいました。本年度は、農薬を使わずに育てたため、例年よりは少し収穫量が減ったけど、上出来だとおっしゃっていました。これも子どもたちの頑張り、保護者のみなさんや地域の方々のおかげです!

この後は、藤波さんが精米までをしてくださいます。5年生は、それを使ってアースランチフェスティバルに出品する「創作料理」を作ります。12月には、お餅つきをしたり、アースランチでお世話になった方々へ「創作料理」を届けたりしたいと考えています。



機械で脱穀したのだけれど、とても大変でした。昔の人は、手作業で脱穀していて、機械でやるより大変だったのが分かりました。(機械でやっても1時間30分くらいかかったから。)一人で一から農作業をすることは、ものすごく大変なことだと思いました。早く新米を食べたいです。おはぎもしっかり作りたいです。今日は、みんなで協力して、楽しくいい体験ができました。【SYさん】

【TKさんが調べてきた四字熟語】

りゅうりゅうしんく
粒々辛苦

〈意味〉米の一粒一粒も農家の人たちの苦労からできたものだから、心を込めて物事に取り組み、大変な苦労をすること

